五城目新報

発行所　秋田県五城目町役場　編集　総務課
（電話　五城目　501番～505番）
印刷所　五城目印刷所　電話571番（一部五円）

町税納期一覧（二）

8月	町民税	2期
9月	固定資産税	3〃
10月	町民税	3〃
	保険税	3〃
11月	固定資産税	4〃
12月	町民税	4〃
	国保税	4〃
随時	木材引取税	全

増産、省力、土質米
45年までに三目標を達成
〃健康な稲づくり運動〃

本町では次の目標を定め、「健康な稲づくり運動」を今後も続けて実施することになりました。

まず、この運動を強力に進めるために、推進本部は町をはじめ農協、農委、農業共済、土地改良区及び総合普及員で構成し本部長には小林町長がこれに当り、本部に事務局を置いて総務企画班と指導班を設け、それぞれ地域の特性を生かした計画をたて、その推進に当ることになります。

【目標】昭和四十五年までに次の三目標を達成する。

①十アール当り一俵増産
②十アール当り三〇％省力
③上位等級米九〇％以上確保

なお、本年度の事業計画のおもなものは次のとおりです。

▽五月①苗代防除、施肥設計、除草剤の使い方などの印刷物の発行②苗代管理など現地指導③七五〇キログラム集団の設計指導などの講習会④苗代末期病害虫共同防除

▽六月①推進員の大会②二化めい虫一世代共同防除③病害虫発生状況調査並びに防除の現地指導

▽七、八月　①肥培管理、病害虫防除などの現地指導②葉いもち病、穂いもち病（二回）の共同防除

▽九月①刈り取り適期現地指導②乾燥対策、産米改良などの座談会③坪刈り審査など多収穫競作会④部落座談会、指標田、集団栽培、七五〇キロ集団などを対象に反省検討会の開催。

▽五月～九月　異状災害、緊急情報などのチラシを配布する

なお、二月から四月までの計画は省略いたします。

湖東病院敷き地
高校隣接地に決定

湖東病院建設場所を決めるため県厚生連は四月二十七日午前十時から、秋田市の県農業会館で理事会を開き、建設敷地を五城目町と八郎潟町の境界線にある五城目高校の西側に正式決定しました。

県厚生連は敷地決定とともに用地買収をすすめ、同時に設計書の作成を急ぎ、七月ごろ着工する計画だといわれています。

一昨年四月の計画によりますと、工費は約一億八千万円で、鉄筋コンクリート三階建て（地下一階）で、内科、外科、小児科、耳鼻咽喉科、産婦人科、レントゲン科、整形外科、精神科、眼科、泌尿科などすべての治療、診察をする総合病院にし、建て物は冷暖房やエレベーターの完備した、近代的なものであります。

館岡収入役再任す

四月三十日で任期満了した収入役館岡斌郎氏（60）は、四月二十八日の臨時町議会で再び選任されました。

四月十五日執行
知事県議選の結果

統一地方選挙のトップを飾る知事選と県議選は、四月十五日午前七時から一斉に投票が開始され、即日開票の結果、本町の分は次のとおりです。

【知事選】▽有権者数一一・八六四人▽投票者数一〇・二二〇票▽棄権者数一・七四四人▽投票率男八六・三一％女八四・四〇％平均八五・三〇％

小畑勇二郎　七・九〇二票
小川　俊三　一・三三四票

【県議選】▽有権者数一一・八六四人▽投票者数一〇・一一九人▽棄権者数一・七四五人▽投票率男八六・二九％女八四・四〇％平均八五・二九％▽有効投票九・六七五票▽無効投票四三〇票

佐藤　邦彦　四・三五三票
斎藤　正作　二・四九〇票
館岡賢次郎　一・二二二票
高橋　清一　八九二票
渋谷　倉蔵　四五七票
佐藤千万三　二六〇票

南秋田郡の開票結果	投票総数	有効投票	無効投票	館岡賢次郎	佐藤邦彦	斎藤正作	高橋清一	渋谷倉蔵	佐藤千万三
五城目	10,105	9,675	430	1,222	4,353	2,490	892	457	260
昭和	5,662	5,599	63	1,530	83	318	3,303	218	146
八郎潟	5,134	4,067	76	924	772	806	847	588	129
飯田川	3,037	3,012	25	727	192	531	1,113	366	82
天王	6,228	5,928	300	534	424	269	765	3,828	107
井川	4,015	3,928	87	373	381	2,424	430	243	76
琴浜	5,074	4,872	202	653	623	483	882	2,162	68
計	38,255	37,081	1,174	5,963	6,831	7,321	8,232	7,862	871

五小第一期工事完成　昨年9月大木建設の手で着工した五小第一期工事（普通教室12、鉄筋コンクリート三階建、1,073平方メートル）は、3月末で完成しました。

高堂ミエさん行政相談員に

高堂ミエさん（仲町）は四月一日付で行政管理庁長官より「行政相談委員」を委嘱されました。この仕事は役所仕事などについてなっとくのいかないこと希望することなどについて、無料で相談を受けます。

少年委員会の新役員決まる

五城目警察署管内の少年委員会委員の改選がこのほど行なわれ、五城目地区は次のかたがたが決まりました。

▽会長　安東誠▽副会長　菊地耕二▽補導部長　小松正直▽環境調査部長　分銅良一▽広報部長　阿部三郎▽委員　伊藤富司　千葉稔　宮川庄太郎　千田良次　阿部孝順　北島格一　分銅吉朗　菊地卓弥　館岡隆一　佐藤貞　荒川レン　斎藤クニ　大石ミヨ　坂谷弘之助　荒川要悦

ご厚志に感謝

大川の北嶋字一郎さん（34）は祖母トメさん（85）の死亡による香典返しとして献架二台（一三・三〇〇円相当）を大川小学校へ寄贈し感謝されています。

地元就職者を激励

四月二十二日午後一時から、役場第一会議室で地元就職者の激励会を催しました。

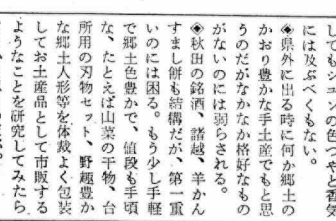

写真　地元就職者を激励する小林町長

（お）（知）（ら）（せ）

▼種痘を実施

種痘の定期予防接種を行なっています。対象は昭和41年7月1日から同年12月31日までに生れたこども並びに、前に接種しなかったこども及び不完全であったもの。

▽五城目(1)接種5月10日検診5月17日時間午後2時半から3時半まで、笹尾医院で。

▽五城目(2)接種5月11日検診5月18日時間午後2時半から3時半まで、笹尾医院で。

▽馬場目接種5月12日検診5月19日時間午後2時から2時半まで、馬場目保育所で。

▽大川接種5月17日検診5月24日時間午後1時半から2時半まで。

杉沢、富津内、内川は終了。

なお、種痘を受けるとき、おかあさんは次のことを注意してください。

①前に入浴させ清潔なはだ着を着せる②ヒフ病、高熱などからだに異常があるときは、前に医師へお話しすること③接種した場所は10分から15分位い出してかわかし、きものを着せる。ホータイの必要はない④高熱の場合のほか入浴はよい。ただし接種当日はさけ、入浴の際はこすらないようにする。

▼結核の集団検診

結核の集団検診は5月8日から12日まで実施いたします。くわしいことはチラシなどでお知らせしますから、必らず受けてください。

▼犬の登録と狂犬病予防注射の実施

5月18日旧五城目幼稚園跡で五城目地区の犬の登録と、狂犬病予防注射を行ないます。料金は①登録料300円②注射料260円。ただし、家まで出張した場合は100円加算されます。

五月を健康に

ごとし入学した小中学生や はじめて就職した青少年たちは、ちょうど疲労の蓄積期にはいります。そこで家庭はもちろん、学校や職場では十気を配ってほしいところですなんといっても十分なすい眠をとることがいちばんです。また土・日曜に遊びすぎて月曜日になまあくびがでる々月曜病々にかからぬよう指導が必要です。

昔から木の芽どきといってとくに若い人たちは精神的に動揺しやすい時期です。何に彼につけて相談相手になってやることです。

この月も下旬になると雨が多くなります。湿度が多くなるとわたくしたちの生活にいろいろな支障が出てきます。

また、はえやかが発生し、せきりや腸炎の流行がめだってきます。手をよく洗う習慣や、予防注射を行なって万全の対策を講ずるとともに、はえやかが発生しないよう、隣近所と協力して、卵のうちに駆除しておきましょう。

これは町と商工会が共催し、毎年開催していますが、ことしの三月に中学校或いは高等学校を卒業して、本町内の工場、事業場、商店などの職場に就職したかたがたで、約五十六人が出席しました。当日は小林町長はじめ、坂谷商工会長などからはげましのことばを受け、記念品として三百円入りの預金通帳を贈りました。

広報サロン

◈花の春は選挙の春でもある梅は百花のさきがけといわれたのは昔のこと、フレームや室内暖房の進んだ今日では、野菜と共に花にも次第に季節感が薄れてきて、花にしても野菜にしてもさかなにしてもシュンの色つやと香気には及ぶべくもない。

◈県外に出る時に何か郷土のかおり豊かな手土産でもと思うのだがなかなか格好なものがないのには困らされる。

◈秋田の銘酒、諸越、羊かんすまし餅も結構だが、第一重いのには困る。もう少し手軽で郷土色豊かで、値段も手頃な、たとえば山菜の干物、台所用の刃物セット、野趣豊かな郷土人形等を体裁よく包装してお土産品として市販するようなことを研究してみたらどうかと思うのだが。

◈コケシブームも徒らに俗悪化し、なまはげの宴席におけるショーに至っては、県外人からひんしゅくを買っているので一考を要する時ではなかろうか。観光開発の一面として郷土秋田、郷土土産を真剣に取りおけてもらいたい。

◈選挙の春は衆議院の総選挙を皮切りに、知事、県議、市町村議、市町村議の選挙と巷は連日連夜騒音のルツボである。第一次から第三次の選挙を通じていえることは、多党化傾向にあるということだ。民主政治のため是か、非か。（K）

国民健康保険税
昨年より10パーセント増税

昭和四十二年度の本町国民健康保険予算総額は七千二百八十九万五千円で、昨年当初予算より一二％の増加であります。

支出のほとんどは療養給付費ですが、財源としては国庫支出金が全体の五五％で三千九百八十二万一千円次ぎは国保税の三七％で二千六百六十九万七千円となっており昨年度より約二百万円（一〇％の増加）となり、その分だけ被保険者の皆さんから負担していただくことになります。その理由としては、①本年一月一日から世帯員に対しても七割給付を実施した②早期治療による療養給付費が最近急に増加した。…

なお、世帯員七割給付以前は病院や医院の窓口で医療費の五割を支払っておりましたが、七割給付実施後は三割だけ支払えばいいことになります。

以上の点をよくご解くされ、国保税の納税については一層のご協力をお願いします。

税金に不満のあるとき

税務署長から更正や決定などを受け、それが不服のときはその通知をうけた日から一か月以内に、税務署長に書面で異議申立てができます。署長はこれに対し三か月以内に、その内容を審理したうえ決定して通知します。それでもなお納得できないときは、その決定通知を受けた日から一か月以内に、国税局長に書面（正副二通）をもって審査請求をすることができます。また、異議申し立てをしないで直接国税局長に請求できるのは①所得税、法人税の青色申告者②更正、決定通知書にその調査を国税局の職員が行ったことが記載されている場合。

なお、税に対する異議の申し立てや、国税局に対する審査請求などについて、ご不明の点などある場合は、税務相談所（秋田市中通り秋田南税務署内電話秋田二―四一二二）へご相談ください。

（秋田北税務署長）

第一次事務改善
集中可能なものから実施

四月一日から役場事務の窓口を一本化する第一段階として、戸籍、住民登録、出生死亡届、印鑑登録及び証明、埋火葬の許可、人口動態調査、主食配給、国保資格取得、そう失並びに給付、被保険者証の交付、助産葬祭費の請求及び支給、姙娠届の受理及び母子手帳の交付、国民年金関係、身体障害者割引証の交付…などの事務を、「⑥住民課」の窓口で受け付け、処理しておりますが、これらの手続きをする場合、原則として申請書には本人が書いて出さなければならせませんので、住所（地番までや世帯主の氏名それに転出の場合は行き先など、はっきり覚えていただくことと、印鑑を持ってくることを忘れないように

第二次改善案

昭和四十三年度から第二次の改善に着手しますが、計画が予定されているものは、

①事務管理の集中化
②税務事務の適正合理化
③財務会計事務の伝票制採用
④物品出納管理の適正化

の四件であります。この問題については今後町の行政事務処理改善委員会で十分検討のうえ町長へ答申して決定されます。

咲きみちて
さゆらぎもなき桜かな
サクラ
放也

第二次入植希望は18名
八郎潟中央干拓地

八郎潟中央干拓地の第二次入植については、本年一月町政協力員を通して募集受け付けを開始し、二月九日入植希望者の調書を取りまとめたところ、その結果は次のとおりとなっています。

◆地区別希望者数

五城目五、馬場目三、富津内三、内川五、大川一、面潟一　計十八名となっており、このうちの十二名は第一次に申し込み、抽選ではずれた方、ほかの六名は新規申し込みです。

年令別では最低で十九歳、最高で四十歳となっており、一家を挙げて入植を希望しているのが七、分家が十一となっています。

また職業別では十六名は農家ですが、履物商、運転手が各一人ずつおります。入植後の経営についての希望は十七人が個人経営、一人が協同経営となっています。

なお、四月二十四日は役場で入植希望者に対する農林省が行なう選考の予備知識について、県八郎潟新村建設課係員の説明がありました。

春の植林31ヘクタール

町有林春の植林は次のとおりです。

⊙杉　兎品沢一・六六ヘクタール、保呂瀬一八・一五ヘクタール、小川口学校林六・四四ヘクタール

⊙赤松　兎品沢四ヘクタール、小川口学校林一・一八ヘクタール

町有林看守人発令

四月一日付で次の方々が本町有林看守人として発令されました。（カッコ内担当区域）

▽石川和三郎（五小うすり内、杉小中高瀬、同水上、同船沢口の部分林並びに学校林）▽石井徳之助（馬中関ケ沢、馬小中同、関ケ沢）▽佐々木喜久也（保呂瀬沢、馬小中学校林、川台同、保呂瀬沢）▽大石孫吉（古比屋沢県行造林、猿田沢富西小学校林）▽大石源之助（小倉山県行造林）▽小玉久三郎（二ノ沢県行造林）△原田鶴治（大ナコ富西小学校林、沼田県行造林）▽渡部松五郎（入通沢県行造林）▽小玉佐太郎（岩見沢、川内沢、六郎沢、小嵐山）▽伊藤孝太郎（川堤、富東小、富中川堤部分林）▽沢田石吉三郎（小川口合併記念造林、同内小中学校林）▽松橋勇（大場官行造林）

国旗をかかげ子どもの思い出の日に

五月は三日の「憲法記念日」五日の「子どもの日」、十四日「母の日」や、花見、お祭りなどいろいろあるが、まず祝日には国旗をかかげ、子ども中心の「祝日」「花見」「お祭り」になることを考え、子どもを交通やその他の事故から守るように、家庭や社会全体で気を配りたいものです。

石けんの場合は泡だちの良い程、洗滌力がすぐれている

といわれる。

少年の非行防止には汚れを落すことよりも汚れを防ぐことが必要です。昨年一月より十二月まで五城目町全地域内の非行少年は、犯罪少年二〇名、触法少年二名、ぐ犯少年八八名合計一一〇名特に注意してほしいのは少年の酒、たばこ、不健全娯楽などの犯罪行為につながる一番身近な、ぐ犯行為です。犯罪少年はやはり窃盗が多いようです。

あなたのお子さまはすくすくお育ちでしょうか、このチェックポイントでいちど診断してください

もしひとつでもあればぐ危険信号

いちど警察の少年相談所で相談なさってはどうでしょうか

○夜遊びするようになる
○うそが多くなりことば使いが変ってくる
○土曜日の午後も日曜日も家にいない
○家では夕食をあまりたべない
○金づかいが荒くなる
○学校友だち以外の変な友だちがたずねてくる
○タバコをすう。（ポケットにたばこやライターがある
○所持品が不相応になる（おしゃれ道具など）
○親に無断で学校を休む
○成績が目だって悪くなる

非行少年への危険信号

五城目警察署

屋外での火の使用は届出を

四、五、六月中は空気が異常に乾燥する日が続き、湿度が下り火災の発生しやすい気象状態となります。これに風が加わると大火になる恐れが多分にあります。各家庭では一層の火の用心をお願い致します。

又、山林火災も起りやすい時期となっています。

五城目町火災予防条例により屋外での火の使用は制限されています。田畑等での焼き、又は原野、山林での諸作業等による屑焼きをする場合は火災とまぎらわしい煙を発生させる行為又は火災を発する恐れのある行為として消防本部へ届出することになっていますので事前に連絡下さるようご協力をお願い致します

五城目町消防本部

史跡めぐり
岩野古墳群
――その一――

分銅志静

昭和三十五年の初冬、木枯の吹きあれている日、岩野の勇之助君が、手にマガ玉とタイルのような四角な飾石を何枚かもって私の家へやって来た。兄（猿田鉄之助氏）の家の畑でリンゴの木を植える穴を掘っていると、この他に刀や土器などがたくさん出たという。私は直観的に古墳にちがいないと思った。しかしタイルのような石はいったい何に使ったものか全く見当がつかなかった。こんなものを見たのははじめてである。その平べったいうす緑の溶石には異がわいたものを上におすようなアナがほりこまれている。私は早速考古学の参考書や図版を開いてみたが、それと同じものは見当らなかったが、とにかくそれは石帯ようものの一種で帯に結びつける古代の階級章であることがわかった。これはいよいよもって古墳にちがいと思い、勇之助君にねがって、兄の鉄之助さんの家へつれていってもらった。そこで見せてもらったのは三振の太刀、マガタマ四個、石帯が十一個、その他土師、須恵の土器、なかには茶碗状のすばらしい須恵器もあった。そのなかで一番私の目をひいたのは柄頭がワラビのように丸くくびれているワラビ手の太刀である。秋田県ではすでに五本か六本出ているということであるが、実際に自分の眼でみるのははじめてである。この太刀は今なお学界の謎の一つで、東北のエゾ達がつかったものだと言われている。とくに岩手県では発見例が多く、刀の分布の上から言っても、岩手の北上、平泉のあたりは、先住民族の一大中心をなしていたようである。このワラビ手の太刀には中央の太刀にみられない独特のソリがあって、これを日本刀の祖だという人もある。

ところが面白いことには、岩野からはこのワラビ手と一処に中央でつかわれた円頭太刀（全長約七十センチ）や金銅づくりの毛抜形太刀（全長六十三センチ）が出ている。とくにこの毛抜形の太刀は平安朝の初期に流行し、当時の兵士が好んで用いたものだと言われている。そこでこの岩野に葬られた軍人はいったい中央から派遣された将官か、それともワラビ手の使い手であるエゾの酋長かという問題がのこる。しかしその後の数次の発掘によっても、このことはまだ解決されていない。

調査のため来城された早稲田大学の大川教授は、岩野古墳群はいろいろの問題をふくんでおり、これを完全に解明できれば博士になれると冗談をとばしていたが、この岩野古墳群は秋田城の関連ともみても非常に重要であり、今や秋田県の古代史解明の焦点となっている。

とくに石帯やマガ玉は当時の貴族階級のアクセサリーで一般の庶民には縁のないものであり、これをつけた人はかなりの地位にあったものと思われる。しかも斉藤忠博士のお話では、この種の石帯は三の岩野が分布上の北限にあたっているということである。

このマガ玉、石帯の出た古墳は組立ての木棺を用いているが、その一号古墳を中心として、一反歩ばかりのゆるい斜面に約三十四の古墳のあとが発見されたりしたが、この一帯にはまだ多くの古墳群が眠っているものと見られ、現在この一帯を国指定の史跡にしたいという動きもあるようである。

（郷土史研究家）

写真　古墳から出た刀、下がワラビ（蕨）手